

# 【高等学校「情報Ⅰ」 単元「情報社会の問題解決」「協働的な学び」】①

北海道

## 学習指導と学習評価の工夫・改善点の概要

この単元では、はじめに「情報社会の利点と問題点」を発見する学習を行い、次にそれらの学習の成果を活かして、グループによる協働学習を通じて「情報社会の問題点に関する解決の方策の立案と提案」の学習を行い、最後に「単元のまとめ」により、「今までの活動の振り返り」と「生徒による相互評価の集計結果」を踏まえ、単元の学習活動を振り返る構成となっている。

## 評価規準

### 【知識・技能】

情報やメディアの特性を踏まえ、情報と情報技術を活用して問題を発見・解決する方法を身に付けている。

### 【思考・判断・表現】

情報と情報技術の適切かつ効果的な活用と望ましい情報社会の構築について考察している。

### 【主体的に学習に取り組む態度】

情報社会の問題解決を通して、望ましい情報社会に構築に寄与しようとする。

等

## 【各小単元は、次のように設定】

① 情報社会の利点と問題点  
2 時間

② 情報社会の問題点に関する  
解決の方策の立案  
5 時間

③ 情報社会の問題点に関する  
解決の方策の提案  
2 時間

④ 単元のまとめ  
1 時間

## 学習指導と学習評価の工夫・改善の具体的な取組

【ねらい】 情報社会における諸問題について、その背景を科学的に捉え、効果的な解決策を考察できるようにする。

### 【主な学習内容】

- 解決の方策を検討
  - ・アンケート機能を活用して、クラス全員から収集した情報社会の問題点について、グループ毎に1つのテーマを選択し、情報技術を用いて、その原因と解決の方策を検討する。
- 解決の方策を決定
  - ・同時編集機能を活用して、解決の方策を提案するためのプレゼンテーションを作成する。

### 【評価規準】〈思考・判断・表現〉

情報と情報技術の適切かつ効果的な活用と望ましい情報社会の構築について考察している。

クラウドサービスを利用することで、同時編集機能が可能となり、協働的な学びの質を向上させることが期待できる。



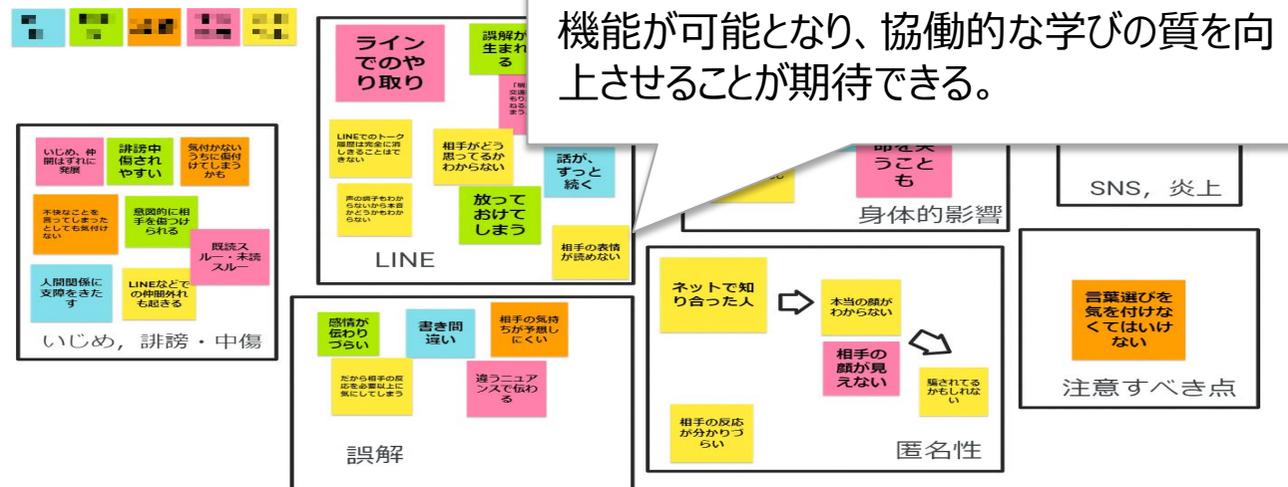
協働的な学習の様子

# 【高等学校「情報Ⅰ」 単元「情報社会の問題解決」、「協働的な学び」】②

## 【協働的な学びの様子より】

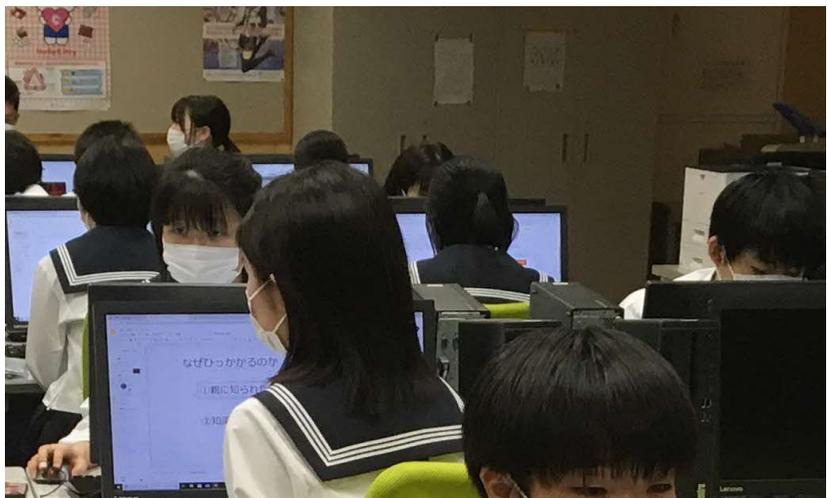


選択したテーマについてシンキングツールを用いて原因を探る様子



選択したテーマについてシンキングツールを用いて考えたことを共有したデータファイル

## 【情報社会の問題点に関する考察とその評価の例】



クラウドサービスの同時編集機能を活用してスライドを作成する様子

学習の振り返り

評価規準 <主体的に学習に取り組む態度>

「十分満足できる」状況 (A) と判断した具体的な例

◆解決の方策の提案において、図を活用したり話す内容を精選したりと情報と情報技術を活用しようとしている。また、解決案を自ら評価し、考えられる中で最適なものであることを確認し聞き手に理解してもらえよう工夫していることから (A) と判断した。

スライドや発表原稿を作成するときに工夫したことは何ですか。

スライドには図を多用して聞き手がわかりやすいように工夫した。発表原稿は、できるだけ短く、また難しい言葉や専門用語をできるだけ使わないように工夫した。

スライドや発表原稿を作成するときにどのような課題や困難がありましたか。また、それをどのように改善しましたか。

聞き手には、提案する解決策が最適だと考えられないのではないかと考えたので、さまざまな解決策を比較して、提案する方策が一番望ましいと覚えてもらえるようにまとめた。

## 「共通教科情報科「情報Ⅰ」の学習指導と学習評価の工夫・改善について」

## (1) 【高等学校「情報Ⅰ」 単元「情報社会の問題解決」、「協働的な学び」】①

単元「情報社会の問題解決」における「協働的な学び」を例として、「思考・判断・表現」、「主体的に学習に取り組む態度」の観点について学習指導と学習評価を行う方法を示した事例である。

小単元「情報社会の問題点に関する解決の方策の立案」の指導において、クラウドサービスの同時編集機能を利用し、解決の方策の検討、解決の方策の決定等の学習活動が行われていることから、協働的な学びの質の向上が期待できる。

また、教師による「思考・判断・表現」の評価に当たっては、学習過程における、クラウドサービス上に保存された成果物（プレゼンテーション）やクラウドサービスのアンケート機能を利用したワークシート、振り返り等を基に評価することが考えられる。

なお、生徒は成果物や一連の学習活動について、どのように改善を行ってきたのか、などについて、振り返りを通して評価することが考えられる。